

森林集約化と間伐材搬出計画・丸太流通と六次産業化



森脇 徹 議員

境界明確化が必須、推進を！

答

引き続き必要な支援を行う

党議員団は「百年の森構想」で木材六次産業化の先進地、岡山県西粟倉村を訪問。高島市の森林管理と六次産業化へ展望を見出した。

問

六次産業化には木材の安定的な搬出が必要で、搬出補助を受けるには集約化が前提だ。西粟倉村では、境界明確化は完了し事業を推進。3万6千haの山林を有する高島市の進捗状況は。

答 農林水産部長

境界の明確化は、4地区17・8haが完了しており、今年度は8地区53haの測量が完了する見込みです。さらに、現在、11地区105haの事前調査や現地調査を進めています。

今後も森林所有者への働きかけを県や森林組合と連携しながら推進します。



山林所有者立ち合いで進められる境界明確化事業

問

モデル地区設定は考えないか。

答 農林水産部長

集約化を進めるうえで有効な手段であり、支援していきたいと考えます。

問

山林の間伐や集約・境界化の推進には、国や県から支援を受け、所有者や森林組合と連携することが必要だ。森林組合への支援策は。

答 農林水産部長

森林組合との連携や事業実施への支援は今後も進める必要があると考えており、国や県の施策も見極めながら、引き続き対応していきたいと考えています。

問

不在地主が課題である。西粟倉村では職員が出向き集約化に努めた。市の役割は大きいが、作業の一員となってやる決意はあるのか。

答 農林水産部長

西粟倉村では、森林所有者から森林管理を行政が直接任せられています。高島市の森林経営とは根本的に異なるため、高島市の実情に見合った支援を行ってまいります。

問

県造林公社の管理山林は、長期契約更新と同時に奥山を解約する方針だ。解約後は荒廃の心配はないか。

答 農林水産部長

市内解約対象の森林面積は2千523haで所有者は451人です。このうち約5割が解約済みです。解約後は放置林とならないよう環境林整備事業を実施しますが、可能な限り木材生産に結びつくよう集約化を推進していきます。

問

針葉樹丸太の出荷量は。

答 農林水産部長

出荷量の内訳は、建築用材が1千871m³、ベニヤ材等が702m³、燃料用チップ等に使われるものが601m³です。

問

市内製材所における木材加工販売の現状は。

答 農林水産部長

住宅産業に関連する製材品等の木材需要は減少しています。

問

木材の六次産業化は、今年度どこまで課題整理できるか。

答 農林水産部長

現在、地域資源としての森林評価や担い手の動向等の確認作業を進めています。今後、最適な六次産業化の具体策を見出したいと考えます。

問

西粟倉村では、六次産業化の成功で、製材所がフル稼働、転入含め40名の若者が村内就職で、木材関連の仕事に就く姿があった。高島市内外の専門的な人材育成の展望は。

答 農林水産部長

若者定住施策等と連携しながら進めます。

その他の質問

●ダイオキシン超過隠ぺい事件における賠償請求・求償問題